

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 9月30日・3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
公告の方法	下記ホームページに掲載する。 http://www.nsg.co.jp
会計監査人	新日本有限責任監査法人

ご住所変更などのお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様の株式につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1~999株の株式)をご所有の場合、当社に対して、

- (1) 買取請求又は
- (2) 買増請求(ご所有の単元未満株式と併せて1単元(1,000株)に達するまでの株式を買い増すこと)をすることができます。

お手続きの詳細は、一般口座ご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社までお問い合わせください。特別口座の株主様(証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様)につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

郵便物ご送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

電話ご照会先 ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)

※2013年1月から郵便物ご送付先・電話ご照会先が上記の内容に変わりました。

会社概要 (2013年3月31日現在)

商号	日本板硝子株式会社
本店	〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号 (住友不動産三田ツインビル西館) TEL: 03-5443-9500
設立	1918年11月22日
従業員数(連結)	27,932人
資本金	116,449百万円
上場証券取引所	東京、大阪(証券コード:5202)
お問い合わせ	http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us
ホームページ	http://www.nsg.co.jp

お知らせ

第147期定時株主総会の議決権行使結果につきましては、臨時報告書により、インターネット上で、EDINET (<http://info.edinet-fsa.go.jp/>) に掲載されるとともに、当社ホームページ (<http://www.nsg.co.jp>) においても開示されます。これらをもって決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承ください。

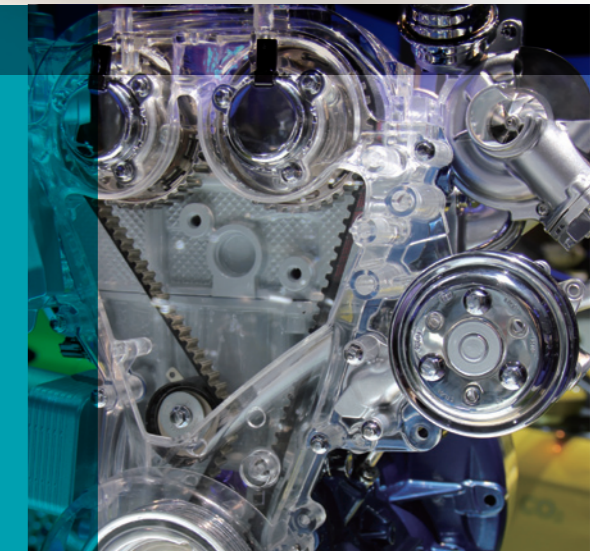


第147期 報告書

日本板硝子株式会社
2012年4月1日 ~ 2013年3月31日

「ガラス技術で世界に変革を」

証券コード: 5202



ごあいさつ

平素はご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第147期報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期において当社グループの主要な市場は低迷しました。厳しい状況は続くことが予想されますが、いくつかの分野で改善の兆しも見えています。

当社グループの収益性改善施策については、計画に沿って進めており、その効果は当初目標を上回るペースです。また、並行して戦略投資を選択的に進めながら、新しい高付加価値製品を立ち上げております。

2014年3月期の収益性は、これまでに実施した収益性改善施策の効果がより大きく発現することで、さらに改善していくことを予想しております。



取締役会議長
朝香 聖一

代表執行役社長兼 CEO
吉川 恵治

当期（2013年3月期）における当社グループの主要な市場では、数量が前期を下回り、厳しい状況が続きました。連結売上高は前期を約6%下回りました。また、リストラチャリング費用の計上もあり、最終当期純損失を計上いたしました。その結果、誠に遺憾ではございますが、当期の配当の実施を見送らせていただくことといたしました。当社グループは、配当が株主の皆様にとって重要なものであると認識しており、当社グループの業績が十分に改善した段階で配当実施を再開することを考えております。

建築用ガラス事業では、数量が前期を大きく下回りましたが、その減少のペースは緩やかになり、当期下半期後半には、需要は低水準ながらも安定していました。

自動車用ガラス事業の売上高は、主に欧州における乗用車販売台数が過去15年あまりの間で最低水準となり、数量が大幅に減少したため、前期を下回りました。

高機能ガラス事業の売上高と営業利益は前期並みでした。ディスプレイ用の薄板ガラスの需要は引き続き安定しており、スマートフォンやタブレット型パソコン等の分野における需要が総じて好調でした。

当社グループは、間接費削減に向けた様々な収益性改善施策に注力してまいりました。収益性改善施策を加速し、その効果が業績に現れ始めており、世界市場の厳しい状況による影響を緩和しています。

当期における収益性改善施策の効果は、当初予想のほぼ倍となり、収益性は当期を通じて着実に改善しています。

また、当社グループでは、並行して戦略投資を選択的に進めながら、新しい高付加価値製品を立ち上げております。

南米では、合併事業（セブラセ社）により運営されるブラジルで5つ目のフロートラインが2012年4月に立ち上がりました。ポーランドでは自動車用ガラスの生産能力

拡大、向上に向けた設備投資が最終段階を迎え、2012年9月に生産を開始しました。また、現在、当社グループは、ディスプレイ事業向けの超薄板ガラスの生産能力拡充を計画しております。

当社グループは生産能力を適切に管理し、収益性を向上させるための施策を検討するとともに、すべての側面から資産ベースを見直してまいります。

2014年3月期の収益性は、これまでに実施した収益性改善施策の効果がより大きく発現することで、さらに改善していくことを予想しております。

皆様には、引き続き当社グループへのご理解とご支援をお願い申し上げます。

2013年6月27日

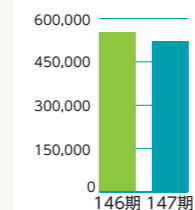
日本板硝子株式会社
取締役会議長
朝香 聖一

日本板硝子株式会社
代表執行役社長兼 CEO
吉川 恵治

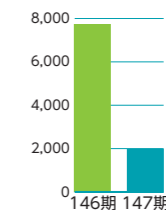
連結業績ハイライト

	第147期 (2013年3月期)	第146期 (2012年3月期)
売上高(百万円)	521,346	552,223
個別開示項目前営業利益(百万円)	1,946	7,716
税引前当期損失(百万円)	△29,068	△4,822
当期損失(百万円)	△31,939	△1,749
親会社の所有者に帰属する当期損失(百万円)	△32,808	△2,815
基本的1株当たり当期損失(円)	△36.36	△3.12

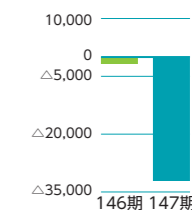
売上高
(百万円)



個別開示項目前
営業利益
(百万円)



当期損失
(百万円)



注：第146期および第147期の連結業績は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成されています。

ガバナンス体制の再編

当社グループは、藤本勝司の取締役会議長兼取締役会長退任に伴い、独立社外取締役である朝香聖一氏を新しく当社取締役会議長に任命することを2013年3月に発表しました。朝香氏は、日本精工株式会社で代表取締役社長等の要職を歴任された方です。当該任命は、これまで当社が実施してまいりましたコーポレート・ガバナンスの強化に向けた諸施策の一環です。取締役会

の半数は独立社外取締役に構成され、かつ指名委員会、監査委員会および報酬委員会の委員長はすべて独立社外取締役の方により担われます。これらにより、当社グループの持続可能な成長に欠かすことができない先進的なコーポレート・ガバナンスの実現に向け、さらなる進展が図られました。

トピックス

当社製品を東京メトロ新型車両が採用

2012年4月に投入された東京メトロ銀座線新型車両1000系の前面部に、当社の熱線入り合わせガラスが採用されています。このガラスは、コーナーの曲率半径を小さくしたもので、1920年代に銀座線で活躍した旧1000系をモチーフとする特徴的な黄色い車体のレトロなデザインの演出に一役買っています。



写真提供：東京地下鉄株式会社

高強度グラスコードの市場拡大



タイミングベルトに使用される当社の高強度グラスファイバーは、エンジンの製品寿命を通じて燃費効率の向上に寄与します。

自動車エンジンのタイミングベルトは、最適なエンジン性能と燃費を維持する上で重要な役割を担っています。当社グループの高強度グラスコード Glasscord® は、次世代タイミングベルトに使用されており、ベルトの耐屈曲性と引っ張り強度を著しく向上させ、ひいてはエンジンの製品寿命を通じて、燃費効率の向上に寄与します。

当社製品の Glasscord® を使用した新型耐油ベルト「ベルトインオイル」方式の開発により、タイミングベルトの技術改良が進みました。この「ベルトインオイル」方式は、フォード車のエコブーストエンジンに採用されており、直近ではプジョー・シトロエン社の新型3気筒EBエンジンに当社の高強度グラスコードが組み込まれたタイミングベルトが採用されました。

当期において、当社グループは、英国セントヘレンズにある高機能ガラス事業部門の製造拠点への大規模な投資を発表しました。本拠点は、高強度グラスコードの製造を一貫して行う欧州における初めての拠点であり、かつ日本以外では唯一の拠点となります。

グローバル報告相談ホットラインの強化

当社グループは、コンプライアンス強化の観点から、懸念事項の報告・相談制度をさらに充実させました。この新しい制度の下では、当社グループの従業員は、業務にかかるあらゆる法律上、倫理上の懸念に関し、専用電話ホットライン、専用ウェブサイトを使って報告・相談することができます。それぞれ複数言語かつ24時間365日体制で対応しており、世界中の当社グループ従業員がいつでもアクセスできる環境が整備されています。本報告・相談制度は第三者機関により運営されています。従業員は法令の範囲内で報告・相談を匿名で行うことも可能ですし、誠実に報告・相談を行った場合、会社から不利益を受けることは決してありません。



新しい制度を周知するため、各国語のポスターとパンフレットがグループの従業員へ配布されました。

特集 NSGグループの最先端技術

抗菌・抗ウイルス性ガラス「ウイルスクリーン®」発売

当社は、抗菌・抗ウイルス性光触媒ガラス「ウイルスクリーン®」の開発に成功し、2012年12月に販売を開始しました。抗菌作用のあるガラス製品はすでに市場で発売されていましたが、ウイルスクリーン®は、抗ウイルス作用のあるガラス製品として初めて商品化されたものです。



このウイルスクリーン®には、酸化チタン光触媒膜を当社独自のオンラインCVD製法により成膜したガラスをベースに、抗ウイルス活性を発現させるために銅系化合物をスパッタリング製法により形成させて複合化した膜をコーティングしています。

これらの2種類の膜のコーティングにより、ガラス面に付着するウイルスを99%以上低減させ、大腸菌、黄色ブドウ球菌などの細菌や黒かびに対しても高い抗菌・抗かび性を実現します。この製品は可視光（室内光）でも光触媒効果を発揮します。

当社の独自技術により、ガラス本来の透明性を維持したままコーティングを施して、抗菌・抗ウイルス性光触媒ガラスを創出することに成功いたしました。ウイルスクリーン®の可視光透過率、反射率は一般のガラスとほとんど変わりません。

ウイルスクリーン®は、病院や研究所など高い衛生状態が求められる建築物での用途を目的とした商品です。また、銀行や空港、学校などの公共施設からも関心が寄せられています。

当社グループは、省エネ・創エネのみならず、安全・安心な社会作りに役立つ高性能なガラス分野においてグローバルリーダーとなることを目指します。



ウイルスクリーン®の透明度は一般のガラスとほとんど変わりません。

役員 (2013年6月27日現在)

当社は、2008年6月27日付で委員会設置会社に移行しました。

取締役

社外取締役	朝香聖一
取締役	朝香聖一
社外取締役	ジョージ・オルコット
社外取締役	藤田純孝
社外取締役	小宮弘治
取締役	吉川恵治
取締役	クレメンス・ミラー
取締役	マーク・ライオンズ
取締役	諸岡賢一

執行役員

代表執行役社長 兼CEO	吉川恵治
代表執行役副社長 兼COO	クレメンス・ミラー
代表執行役副社長 兼CFO	マーク・ライオンズ
執行役員副社長	諸岡賢一

執行役員

上席執行役員	トニー・フラッジリー
上席執行役員	藤木一郎
上席執行役員	日吉孝一
上席執行役員	今西実
上席執行役員	フィル・ミリチャップ
上席執行役員	森重樹
上席執行役員	トム・レイ
上席執行役員	フィル・ラムジー
上席執行役員	ヨハン・セトルマイヤー
上席執行役員	ルイス・エンリケ・ソウザ
上席執行役員	ミレナ・スタニッチ
上席執行役員	フィル・ウィルキンソン
執行役員	藤井一光
執行役員	藤巻和彦
執行役員	梯慶太
執行役員	加藤雅也
執行役員	岸本浩
執行役員	小林史朗
執行役員	前田浩一
執行役員	前原耕二
執行役員	ポール・レーベンスクロフト
執行役員	イアン・スミス
執行役員	土江伸二

指名委員会

ジョージ・オルコット (委員長)
藤田純孝
朝香聖一
小宮弘治
吉川恵治

監査委員会

藤田純孝 (委員長)
ジョージ・オルコット
朝香聖一
小宮弘

報酬委員会

小宮弘 (委員長)
ジョージ・オルコット
藤田純孝
朝香聖一
吉川恵治

株式情報

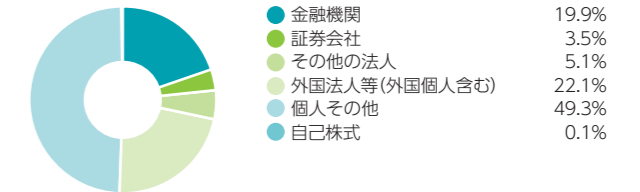
株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,775,000,000株
発行済株式の総数	903,550,999株
株主数	86,959名

大株主 (2013年3月31日現在)

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	27,479,000	3.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	25,839,000	2.85
野村信託銀行株式会社 (投信口)	14,129,000	1.56
Credit Suisse Securities (Europe) Limited PB Omnibus Client Account	12,839,000	1.42
Chase Manhattan Bank GTS Clients Account Escrow	12,377,776	1.36
State Street Client Omnibus Account OM44	12,347,300	1.36
Raiffeisen Bank International AG Client A/C	12,175,000	1.34
トヨタ自動車株式会社	9,610,650	1.06
住友生命保険相互会社	9,148,000	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・三井住友信託退給口	8,769,000	0.97

所有者別の持株比率 (2013年3月31日現在)



株価と出来高の推移

